



【1】一種研開催報告

一種研が7月12日から14日の3日間、北海道立道民活動センター(かでる2・7)を会場として開催されました。今回は宇宙・航行エレクトロニクス研究会(SANE)、衛星通信研究会(SAT)と併催され、A・P研オーガナイズドセッションが17件(そのうち5件は第4回電波伝搬モデリングコンペティションの発表)、A・P/SANE/SAT研合同セッションが10件、SAT研特別講演、A・P研チュートリアル講演、IEEE AP-S Tokyo Chapter, URSI-F 特別講演を含む54件の講演が行われました。昨年7月に旭川で開催された研究会よりも13件も増加し、コロナ後の参加者数の回復を感じました!

IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演では、「Beyond 5G時代における非地上系ネットワークの将来像」と題して、NICT宇宙通信システム研究室の辻宏之室長より講演をいただきました。非地上系ネットワーク(NTN: Non-terrestrial Networks)が2次元の5G通信時代から宇宙に伸びる3次元通信ネットワークへの拡張について、Beyond 5G時代の通信の展望が描かれました。それぞれ異なる高度で役割を果たすGEO(Geosynchronous Equatorial Orbit)衛星、LEO(Low-Earth Orbit)衛星、HAPS(High Altitude Platform Station)、飛行機、ドローンを経由する通信の特徴、長所と短所、技術課題などが幅広く解説され、非常に視野を広げる講演でした。

A・P研チュートリアル講演では、新潟大学の金ミンソク先生からミリ波帯電波伝搬測定及びサイトスペシフィックチャネルモデルの開発について解説していただきました。様々な電波利用シナリオ及びSub-6GHzからミリ波帯までの幅広い周波数帯において伝搬チャネルを構築するという背景で、市街地環境におけるミリ波帯伝搬チャネルの測定、実測値に基づいた高精度サイトスペシフィックチャネルモデルの構築、そしてマルチパスデータ生成ツールの開発及びその評価について詳しく解説していただきました。大変実用性が高い講演でした。

【2】AWAP2023開催報告

6月29日から7月1日の3日間、大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)で4年ぶりにAWAP2023が対面で開催されました。キーノート発表は3件あり、インバイトと一般セッションが合計で7つあり、計29件の発表が行われました。また、韓国からは10件(うちキーノート1件)、タイからは4件(うちキーノート1件)の発表がありました。4年ぶりの現地開催ということで、発表の冒頭には感謝の言葉が述べられた発表もいくつかありました。これはこれまで見たことのない光景でした。さらに、今回は従来のものとは異なる趣向を凝らしたバンケットが開催され、参加者が楽しんでいる様子を写真4にて収めることができました。来年のAWAPはタイのチェンマイで開催される予定です。皆さんからの奮ってのご参加をお期待しております。



写真1 AP-S Tokyo Chapter 特別講演



写真2 A・P 研チュートリアル講演



写真3 3 研専懇親会



写真4 AWAP2023 閉会集合写真



写真5 AWAP2023 のバンケット風景

【3】プログラム編成委員会報告

2023年電子情報通信学会ソサイエティ大会が9月12日（火）～15日（金）に名古屋大学東山キャンパスにて開催されます。それに先立ち、7月18日にプログラム編成会議を主に対面方式で行いました。A・P研関係の投稿件数は合計144件で、昨年度145件とほぼ同じです。たくさんの投稿をいただき、ありがとうございました。プログラム編成の結果、B-1A：7セッション（34件）、B-1B：10セッション（47件）、B-1C：8セッション（39件）、BS-1：2セッション（6件）、BS-2：3セッション（8件）、英語セッション：1セッション（5件）、シニア若手セッション：1セッション（5件）となりました。

今回のプログラム編成作業もほぼ対面で実施しました。プログラム編成委員の方々のご尽力に感謝申し上げます。今回のソサイエティ大会から基本的に現地開催で実施されます。皆様、積極的に参加いただき、活発な議論を期待しております。よろしくお願いいたします。

【4】学生-企業交流イベント案内

10月に研究会@岩手大学で学生と企業との交流イベントを開催します。学生にとっては企業の情報が得られ、また企業にとっては学生と接する良い機会です。また、発表はポスター形式ですので個別のディスカッションが可能です。詳細はA・P研ホームページをご覧ください。申込〆切が8/10と迫っていますので、発表を検討の方はお急ぎください。



図1 学生と企業の交流

【5】D&Iセッション開催案内

IEEE AP-S Tokyo Chapterが主催、IEEE MTT-S Japan Chapterが共催する8月AP研究会の二日目9月1日に、D&Iセッションが開催されます。D&Iは、英語のDiversity & Inclusiveの頭文字を取った略語で、多様性を認識しながら、一人ひとりが受け入れられ、それぞれの個人の力が発揮できる環境を整備する活動です。今回のセッションでは、冒頭でIEEE R10 D&I Committee ChairとIEEE MTT-S D&I AdCom Chairが、それぞれ組織の取り組みを紹介していただきます。その後中国から1名、マレーシアから1名、また日本から2名の研究者が技術的な発表を行います。このセッションを通じ、より多くの方々がD&Iの活動の意義を理解していただけることを願っています。皆さんの積極的な聴講をお待ちしております。

【6】副委員長の戯言

◆久しぶりに北海道に行ってきました。

敢えて、前副委員長の藤元先生と同じタイトルにしました。確かに私は7年ぶりに北海道を訪れました。北5条と北2条あたりにはかなり新しい建物が増えていると感じました。写真5のような素敵な憩いの場所も、駅からちょっと離れた地下に偶然見つけました。皆さんも今度札幌に行かれる際には、ぜひ探して見て下さい！7年前と比較すると、外国観光客はまだそれほど戻っていないようですが、札幌駅周辺は観光客で賑わっていました。

◆クイズです。

写真6の池に映っている建物はどの建物でしょうか？なお、その建物は7月のAP研究会場から非常に近くにあり、札幌の有名な観光地の一つです。因みにこの鏡像現象はアンテナ設計にもよく利用されています。連想してはどうでしょうか。



写真6 札幌駅地下街憩い場



写真7 池に映った建物の名前は？

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 袁 巧微（東北工業大学）

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET: A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP: <https://www.ieice.org/cs/ap/>

